

# はじめに

豊中市では、平成25年（2013年）3月に、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援し、健やかでこころ豊かに生活できる活力ある社会の実現をめざすため、『豊中市健康づくり計画』を策定いたしました。計画に基づき、保健所を設置する中核市の強みを活かし、これまで総合的な健康づくりに取り組んできたところです。この間、超高齢社会の到来に伴い、国においては、団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）を目途に、地域包括ケアシステムの構築に向けたさまざまな施策が進められてきました。本市においても、



平成29年（2017年）3月に『豊中市地域包括ケアシステム推進基本方針』を策定し、医療・介護・福祉などの関係者や市民の皆様が、連携・協働して取組みを進めています。

このような中、『豊中市健康づくり計画』が、平成29年度に中間年を迎えることから、これまでの取組みを評価し、本市における新たな健康課題や社会情勢の変化などを踏まえ、このたび『豊中市健康づくり計画中間見直し』を策定いたしました。

地域包括ケアシステムがめざす、将来像の実現には、健康寿命の延伸が不可欠です。本計画では市民一人ひとりが健康意識を高め、生活習慣を改めるなど主体的に健康づくりに取り組むことに加えて、それを地域・まち・社会全体でサポートすることを、根幹に据えています。

今後も、市民の皆様、関係機関・関係団体の皆様とともに、さまざまな取組みを推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり真摯にご議論いただきました「豊中市保健医療審議会」の委員をはじめ関係者の皆様、アンケート調査などにご協力いただきました市民の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成30年（2018年）3月

豊中市長 浅利 敬一郎